



市民病院

# 八十ちゃん通信

問合せ  
市民病院管理課  
☎(48)5050

## 看護部防災チームの活動をご紹介します

近い将来に発生が予想される「南海トラフ地震」。市でも、震度6強以上の強い揺れや津波、河川堤防の決壊による浸水、液状化被害などが予想されています。そんないつ起こるか分からない大災害に備え、私たちは月1回活動をしています。年間を通して病院内の様々な訓練に参加していますので、いくつか紹介します。

大勢の負傷者が搬送される場合に重要なトリアージ。これは、緊急性や重症度で負傷者の治療の順番を判定することです。判定できたらトリアージ・タグというものをつけ、治療の優先度を色で識別できるようにしていきます。



△トリアージ訓練

実際の現場では数十秒から数分で判定しなければいけませんが、訓練では各自が出した判定が適切かどうか話し合っています。

また、病院内で火が発生した想定で、介助が必要な患者さんを搬送する訓練や、消火器・消火栓放水訓練も行っています。ほかにも、スタッフの防災知識を高めるための啓もう活動として講演会を実施したり、名古屋市港防災センターに出向き、体験学習も取り入れています。

これからも病院内の災害プロジェクトチームと協力しながら、入院患者さんが安全に避難し、多くの人々を迅速に救護できるよう日々訓練していきます。



△放水訓練

## 碧南の歴史へのいざない

問合せ 文化財課内市史資料調査室 ☎(41)4566

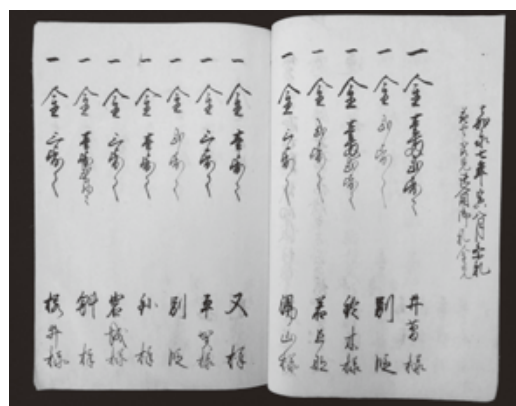
### No.45 碧南市史料 第71集

#### 大浜村字松江・鶴ヶ崎 公私雑録 (2)

#### つながっている? 公私雑録と大浜陣屋日記

「碧南市史料第71集 大浜村字松江・鶴ヶ崎公私雑録」と、「碧南市史料第70集 訳注 大浜陣屋日記 下」を読み比べると、同じ年に、同じ事柄を指していると思われる記録があり、2つの資料が連動していることがわかります。共通するキーワードは、「花火」です。

まず、公私雑録内のその文書のタイトルは、「嘉永七年寅八月祭礼 花火露見諸入用御礼金覚」です。現代語訳すると「嘉永7年(1854年)8月の祭りで花火をしたことが発覚し、色々かかったことのお礼金の覚え」となっています。内容は、松江・鶴ヶ崎にいた村の有力者7人がお金を出し合い、当時大浜陣屋にいた役人などに、御礼金をそれぞれどれだけ渡したか、箇条書きで記されています。



△公私雑録 (原本・市所蔵)

なぜ、花火をしたことで松江・鶴ヶ崎の人たちは御礼金を渡すことになったのでしょうか。大浜陣屋日記に、その事柄についての記載があるので、次回紹介します。

また、広報へきなん平成27年6月15日号に関連記事があります。そちらも是非ご覧ください。